



桜谷小
H29. 2

薬物乱用防止教室がありました

2月13日3校時に薬物乱用防止教室を行いました。毎年5年生と6年生が、薬物の危険性を知って、かけがえのない命を危険にさらさない、親から授かった命を大切に生きて行こう、という学習を行っています。必守会の村島さん、日野ライオンズクラブの会長堀江さんと東近江警察生活安全課の田中さんにお話をしていたき、一人ひとりが真剣に話をきくことができました。地域の関係機関からは、日野ライオンズクラブ、日野少年センター、教育委員会の方々が来校されました。

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」の意味は？

「心や体、脳までもボロボロになる！」

○私は今回で2回目だったけど「薬物」のこわさに改めて気づきました。薬物に手を染めただけで家族や友だちにも迷惑がかかると知りました。私のまわりには使っている人はいません。使っていない人にも「薬物はゼッタイにダメだよ！」と教えてあげたいです。これから「薬物乱用」が無い世界にしてください。奥野なごみさん
○昨年と同じでしたが、去年はわからなかった事がわかってよかったです。腹話術の説明もわかりやすかったです。加納万里さん

○薬物乱用はこわいものだとわかりました。薬物を1回使うだけでも、その後止まらなくなったりしてしまって、こわいものだと知りました。幻覚や被害妄想とかをしてしまって脳と体がボロボロになって、一生大変なこともわかりました。薬物乱用はぜったいしないようにしたいです。言われても断るようにしたいし、薬もちゃんと見て飲みたいです。西村琴菜さん

○今日「薬物乱用防止教室」がありました。いろいろな薬物があって、びっくりしました。種類は「大麻」「覚せい剤」「危険ドラッグ」など・・・いっぱいありました。去年も習ったけど今年は改めてダメだと思いました。これから気をつけたいです。小塚悠葵さん



「一生つきまとわれる！」「他の人もきずつける！」

○ぼくは、もともと薬物に手を出したくないと思っていました。それで、この薬物乱用の教室で学んだ覚醒剤や大麻に手を出すと脳を破壊してしまうことが怖かったです。薬物を一度でも飲んでしまうと、一生つきまとわれてやめやれないことがあるということです。なので、ぼくはこの学習を受けて一生薬物に手を出さないということを自分の意思で決めました。松村一輝さん

○薬物を乱用すると自分の身をぼろぼろにして近くの人にもきずつけてしまうから、自分だけ楽になると思ってやっても、他の人もきずつける。しかも一度やったらとまらなくなって自分の一生がなくなる、と聞いたけど、ぼくはそうなりたくありません！！加納貴月さん

「きょうの話は、おうちの人にも話してあげてね」とけんたくん。



「さそわれたらすぐに断って 家族に相談したい！」

○ぼくは麻薬は知っていたけど、こんなにあぶない物だとは知りませんでした。だから、薬には気を付けたいです。もし、さそわれたらすぐに断って家族や近所の人に相談したいです。たばこもあぶないと思いました。市田零士さん

○ぼくは薬物乱用の授業を受けて、薬物はお医者さんからもらったものなど、安心して飲めるものじゃないと飲んではいけないのはわかっていましたが、この授業でたくさん悪い理由を教えてもらって、なぜ使ってはいけないか、さらに知りました。杉浦颯さん



○薬物乱用防止教室で、ぼくが思ったことは乱用はしてはいけないということです。なぜなら、心も体もぼろぼろになってしまうからです。おとな

になっても薬物をさそわれたら断わると思いました。奥野翔斗さん

❖感想を読むと、それぞれがきちんとした自分の思いを強くもってくれていました。その気持ちを中学、高校そして、おとなになったときも忘れないでほしいです。自分の健康はもちろん、人間を壊して命取りになってしまう、大切な家族さえ失ってしまう、人を巻き込んで犯罪につながるのが薬物乱用です。あなたたちには未来が待っています。今の自分を大事にすることは当然であり、家族や地域の皆さんにも見守られている地域の宝なのです。誘われたときは、きっぱりと「私は、桜谷小学校出身なのでいりません！」と強い意志で断れる人であってほしいと願っています。